

第 25 回議会報告会 報告書

地域名	養父地域		
年月日	令和 5 年 10 月 30 日 (月)	会場名	ふれあいセンターやぶ
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 20 分
参加数	男性 10 人	女性 2 人	合計 12 人
班 長	淨慶 耕造	司会者	淨慶 耕造
報告者	全員	書記	深澤 巧
班員名	淨慶 耕造、深澤 巧、田路 之雄、瀬原 敬樹		
	市 民	対 応	
報告 に 対 す る 質 疑	<p>① 人・農地プランから名称変更となった地域計画づくりのために、市から農地所有者にアンケートをとってもらいたいと言われている。しかし個人情報もあって不在者を追跡できない。このままでは 10 年先には農業は全滅する。耕作放棄地について良い方法を考えてもらいたい。</p> <p>② 企業に農地の面倒をみてもらっているケースもある。契約年数が終わればその後どうしようもない状況が生まれるのではないか。</p> <p>③ ふるさと創生の会派で農業委員会と勉強会をされている。農業をどのように継続するか、考えを聞きたい。</p> <p>④ タウンミーティングで養父市場のグンゼ跡地に市営住宅の建設を求めた。若い世代をつかまえる施策をしないと人口減は止まらない。議員の考えはどうか。</p>	<p>① 今後、荒廃していく農地をどのようにするのか。議会でも取り組み突き詰めた。</p> <p>② 特区事業者も農地の賃貸が圧倒的に多い。契約終了後、元の地権者が農業をやれるかと言えば難しい。持ち帰って研究する。</p> <p>③ 農家アンケートを見ると市内の耕作水田は 600ha くらいと思うが、2 割くらいしか継続できない現実がある。農業所得で生活できるモデルが必要だ。花きや有機野菜、畜産で自立できているところもある。課題は田んぼをどのように集約するかだ。水田維持の政策が必要である。牛ふん堆肥を利用した耕畜連携推進など、農業政策の柱が必要だと思う。</p> <p>④ 子どもがUターンする施策と、子育て世代が移住してくれる施策が繋がっていない。「関宮小さな拠点整備事業」をヒントにして、中心部から外れたところがどのように生き残るか考えたい。</p>	

	市 民	対 応
	<p>⑤ この先若い世代がいなくなり、独居のお年寄りを地域が見なければならなくなる。個人の家庭の状況を行政や議員もリサーチして課題を理解してほしい。</p>	<p>⑤ 課題として承る。</p>
<p>意見交換会での質疑</p>	<p>① 8月の台風で河川から土砂がたくさん流出した。えん堤が役割を果たしていない。チェックしてほしい。</p> <p>② 水道が老朽化して、3～4年後には更新費用がかかる。水道料金に跳ね返ってくるしかない。市長は、今は据え置きすると明言した。人口減少の中で相反するが、できるのか。</p> <p>③ 議員定数を2名ぐらい減らし、報酬はアップさせる。そうしないと議員の質が落ちてしまう。生活のために議員になりたいという、見るに見かねる議員がおられる。肝に銘じておかれたい。</p> <p>④ 有能な人材が地域おこし協力隊として活躍している。自治組織単位で配置してもらえないか。</p> <p>⑤ やぶ医者大賞・プロジェクト事業では表彰ばかりが目立つが、医師や看護師の確保に力が注がれているか。</p>	<p>① えん堤には満砂になることを目的とするものもある。大水を出すことで逆に機能を果たしている場合もある。構造物は県の責任だが、管理は市である。調査と説明が必要である。</p> <p>② 水道は市民生活の最大のインフラだ。水道管も50年、60年たつと耐用年数が過ぎる。市の企業会計では持ちこたえられない。公会計の制度の見直し、交付金、繰入金の仕組みを変えなければならない。来年度に値上げはないが再来年はその議論が始まる。</p> <p>③ ご意見としてお聞きする。</p> <p>④ 現在、13名の地域おこし協力隊がいる。増やすべきと思っている。起業を目指している隊員がいて心強い。</p> <p>⑤ やぶ医者大賞・プロジェクト事業は今年で10年目になる。10年を機に看護師の確保など具体的に市民に見える形に切り替えてはと指摘もしている。市民の意見を聞きながら衣替えしたらよい。</p>

市 民		対 応
意見交換会での質疑	<p>⑥ 養父市場のグンゼ跡地利用について、遊休地活用検討研究会での検討結果が出る。いかに若者を呼び込めるか。市の構想が出たら早期着工に協力してもらいたい。</p> <p>⑦ 一般会計で9億円の黒字が出ている。一方、介護保険料は大変高い。身に染みている。県下トップである。少しは還元してもいいのではないか。</p> <p>⑧ 私立に比べ公立のこども園・保育所はいつも保育士を募集している。ぎりぎりの数ではないか。待遇はどうか。</p> <p>⑨ 以前からタクシー等利用助成事業の乗車の利用範囲が広がればよいと思っていた。買い物などにも使えて本当に喜ばれている。</p> <p>⑩ 今日、養父こども園で高齢者と子どもの交流会があった。一緒にじゃんけんをしたり大変楽しむことができた。交流の機会を続けたい。</p>	<p>⑥ 今後の展開を注視する。</p> <p>⑦ 介護保険特別会計で基金を2億1千万円ほど積み上げている。10年前に比べて介護保険料は28%高くなった。サービスの充実を図る一方で、保険料の抑制に努力する姿勢を示すことが必要である。</p> <p>⑧ 保育士も会計年度任用職員が多い。雇用条件を改善していかなければならない。</p> <p>⑨ 議会で共有する。</p> <p>⑩ 子どもの笑顔はかけがえのないものだ。若い人が集まる地域づくりに一緒に取り組みたい。</p>
その他 (提言など)		
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和5年11月15日

報告者 3班 班長 浄慶 耕造